

主催 御園 森
中部日本放送

上方歌舞伎のスター・片岡愛之助が
天下の色男世之介に初挑戦!!
豪華顔合せで絢爛にお贈りする
元禄の夢物語

八月納涼公演

井原西鶴／原作 岡本さとる／脚本・演出

好色一代男



幻の女
竹下景子



浮世之介
片岡愛之助



吉原・高屋次夫
紫吹 淳



父夢助
上村吉弥



島原・夕霧太夫
愛原実花



尾張の伝七
原田龍二



協力松竹株式会社



女医・相
遼河はるひ



夢の屋手代・清平
桂 雀々



旅芸人・おきて
守田菜生



佳那晃子 紅 萬子 眞乃ゆりあ 海老瀬はな 安藤一人 田井宏明 我 善導

平成23年 8月6日(土)~21日(日)

8月	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
昼の部	12:00	12:00	12:00	12:00	12:00	12:00	12:00	12:00	12:00	12:00	12:00	12:00	12:00	12:00	12:00	1:00
夜の部	4:30	4:30	4:30	4:30	4:30	4:30	4:30	4:30	4:30	4:30	4:30	4:30	4:30	4:30	4:30	

御観覧料 (税共)
 ①13,000円 ②7,800円 ③3,900円 特別席15,000円
 学生割引・2階 ①6,000円 ②4,000円 ③2,000円
 特別室[食事付]・東(4名)40,000円/西(3名)30,000円

インターネット発売(24時間受付)パソコンより 御園座オンラインチケット 検索

★平成23年7月1日(金)より切符売場にて前売り及び予約引換致します。

個人 電話予約 ☎052-222-1481
 (受付時間)午前10時~午後5時

6月25日(土) 午前10時より 電話予約受付開始

団体のご予約(10名様以上) ☎052-222-8222
 (受付時間)午前9時30分~午後6時



〒460-8403 名古屋市中区栄1-6-14
 地下鉄伏見駅⑥番出口

ホームページ
<http://www.misonoza.co.jp/>

出演者・期間などやむを得ぬ理由で変更の場合は悪しからずご了承ください。

八月納涼公演

井原西鶴／原作
岡本さとる／脚本・演出

好色一代男



美術／前田 剛
照明／後藤 文夫
音楽／泰 英二郎
音響／秦 大介
振付／山村 若
舞台監督／榎 康博
演出補／菅原 道則
制作協力 アーティストジャパン
協力 力松竹株式会社
製作 御園座

あらすじ

七つの時に恋を知り、好色一途に生きてきた、上方の御大尽・世之介(片岡愛之助)は、京の島原の名妓・夕霧太夫(愛原実花)にご執心。生涯の好敵手・尾張の伝七(原田龍二)と恋の鞘当を繰り返す毎日。

だがこのところ、どうも気力が湧いてこない。女医の梢(遠河はるひ)はただの腎虚だと言うが、世之介の前に、時折現れる美しき幻の女(竹下景子)は、好色二代の幕切れをどうするか、それをお前は悩んでいるに違いないと囁く。それならば、幕切れを考える前に、まず自分の人生を振り返ってみようと思いつき、世之介は連日連夜、そのあほな日々を周囲の者達に語りだす。

ませた子供時代を経て、手代の瀬平(桂雀々)と二人で水茶屋通いを続けていた若旦那の頃、世之介は父・夢助(上村吉弥)に放蕩を咎められ、江戸での修業を言いつけられた。

しかし、江戸へ下った世之介は、吉原の花魁・高尾太夫(紫吹淳)に夢中なり、千両を使い込んだことから、ついに勘当となり、有無を言わず出家させられる。

しかし、今度は尼の色香に振り回された挙句、やくざの囲われ者・おしの(愛原実花/二役)に一目惚れ。駆け落ちまでするが、これも悲恋に終わった。

幕荒らしの女・お兼(田根楽子)によっておしのの哀れな末路を知った世之介は、世をはかんで川に身を投げたものの死にきれず、通りかかった旅芸人・おすて(守田菜生)に拾われる。

おすての勧めで、かつて廓で習い覚えた踊りで、自らも人気芸人となった世之介であったが、おすての強烈な怪気に悩まされ囚人のような日々。そこへ瀬平が現れ、夢助が急死し、世之介の勘当が解かれた事を告げた…。

思いおこすに、珍妙にして、波乱の半生を送ってきた世之介…。

果たして、どのような好色二代の幕を降ろすのか。そして、幻の女の正体とは…。



月登 朝廣亮二 市川良典 野依健吾 上村純弥 片岡愛一郎 片岡千蔵



平野実篤 森川恵古 伊藤菜生 間辺ナヲ 桂 鈴々 岡野真那美 飯田千賀 赤羽根沙苗 森川渚水

